



女司祭をフタナリアナル
排泄奴隷に調教する

1 日 目

敵国の司祭を捕らえた

気位が高く、近寄りがたい雰囲気
の女だ



こういう女は、その意思の強さも手伝って
多少の責め苦を与えたくらいでは、私に屈服しないだろう

これからどのようにに調教し、私の奴隷としようか…



まずは：身体を淫らな肉体へと改造し、
背徳の快楽漬けにしよう

肉欲に溺れさせ、快楽の虜へと墮とすのだ

そうすれば、いつかは陥落し、快楽の虜へと墮ちるだろう





何をするのです！

今すぐ離しなさい……！！

くっ

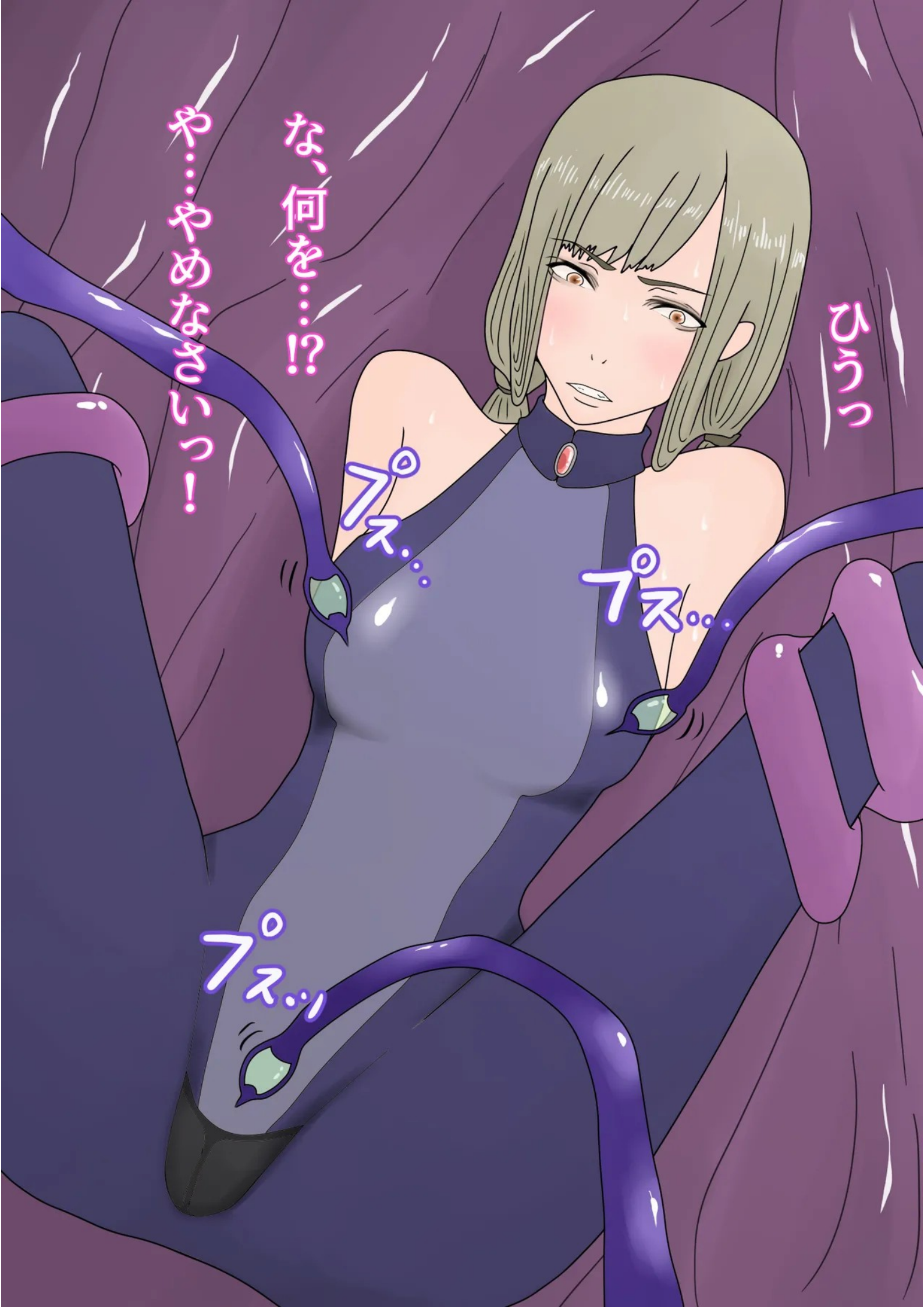
女を拘束した

触手に嫌悪感を表しており、
抵抗の意思を見せている

私はこの女と会話する気はないので、
それに構わず肉体改造を開始する







や...やめなさいっ!

な、何を...!?

ひびく

プス...

プス...

プス...

い…一体何を…!?

何かを…
注入している…?

ドクン…

ドクン…

ドクン…



い…今すぐやめなさい…!!

私にこのような事をして…
ただでは済みませんよ!?

ドクン…

ドクン

ドクン…



注射触手を使い、乳首とクリトリスに薬液を注入した

この薬液は、女を性奴隷へと
肉体改造するための魔薬だ

これにより、突起物の性感度を上げ、
巨大化させることができる



薬の効果はじきに表れるだろう

本日の調教はここまでとし、
明日、続きを進めることとする...



2 目 目

薬液の効果は上々のようだ

ハア
ハア

服の上からでも乳首とクリトリスの
膨らみが確認できる



見た目上、巨大化したのは良いが、
感度も向上しているか、確かめることしよう

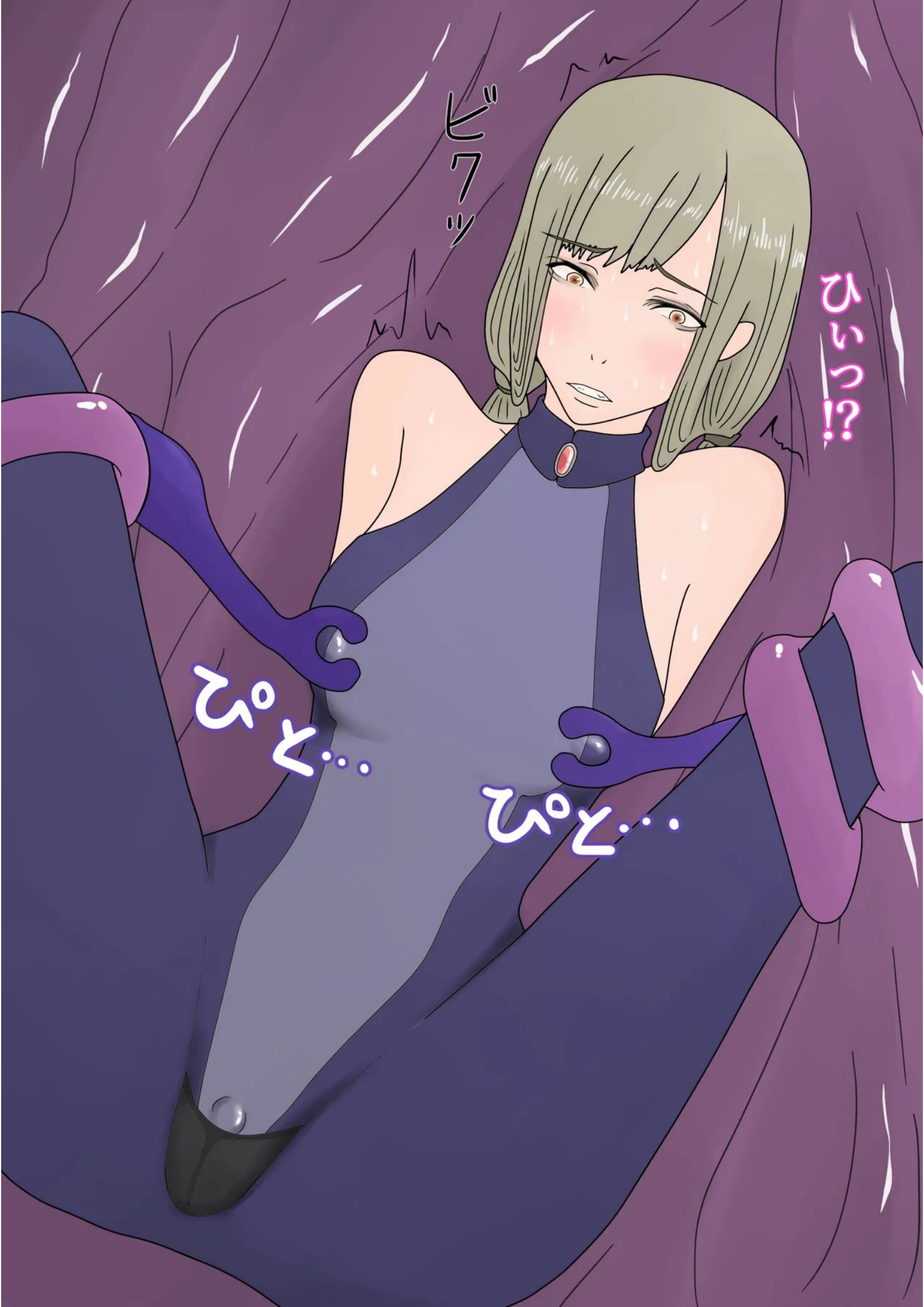
私を…解放しなさい…

今ならまだ許されます…!!

ハア
ハア

ズズ

ズズズ…



びびっ

びびっ!!

びびっ...

びびっ...



や...!!

何を...っ!?

いひひひひひ!!

ぎゅ

ぎゅ



あああ...っ

い...いんな...

ああっ...!!

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

乳首の感度も良好のようで、
クリトリスがビキビキと勃起してきた

クリトリスの感度も確認しておこう

いひいっ!?

ビ
フ
ッ

な…何を!?

どこを触って…!?

「へっ
にゅっ」



あああっ!?

ああっ!

ビビビ

ビビ



あひいっ!

や...!!

やめ...っ!

ビィビィ

ビィ



ああ……!!

ダメっ!!

ああっ!

あああっ!

あひいっ!

あひいひいっ!

ビビビ

ビビ



ああああ…っ！

グッ

グッ

グッ
グッ
グッ



ビク
ビク
ビク

ビク

あ...

ひ...

どうやら絶頂したようだが、初めての経験のようだ

自身に何が起きたのかわからず、戸惑っているようだ

さすがは聖職者、オナニーもしたことがなかったのだろう



感度の改造も良好そうなので、
さらなる肉体改造を進めよう

いや……

ひっ……

薬の量を増やし
クリと乳をさらに巨大化させ
感度を飛躍的に向上させるのだ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

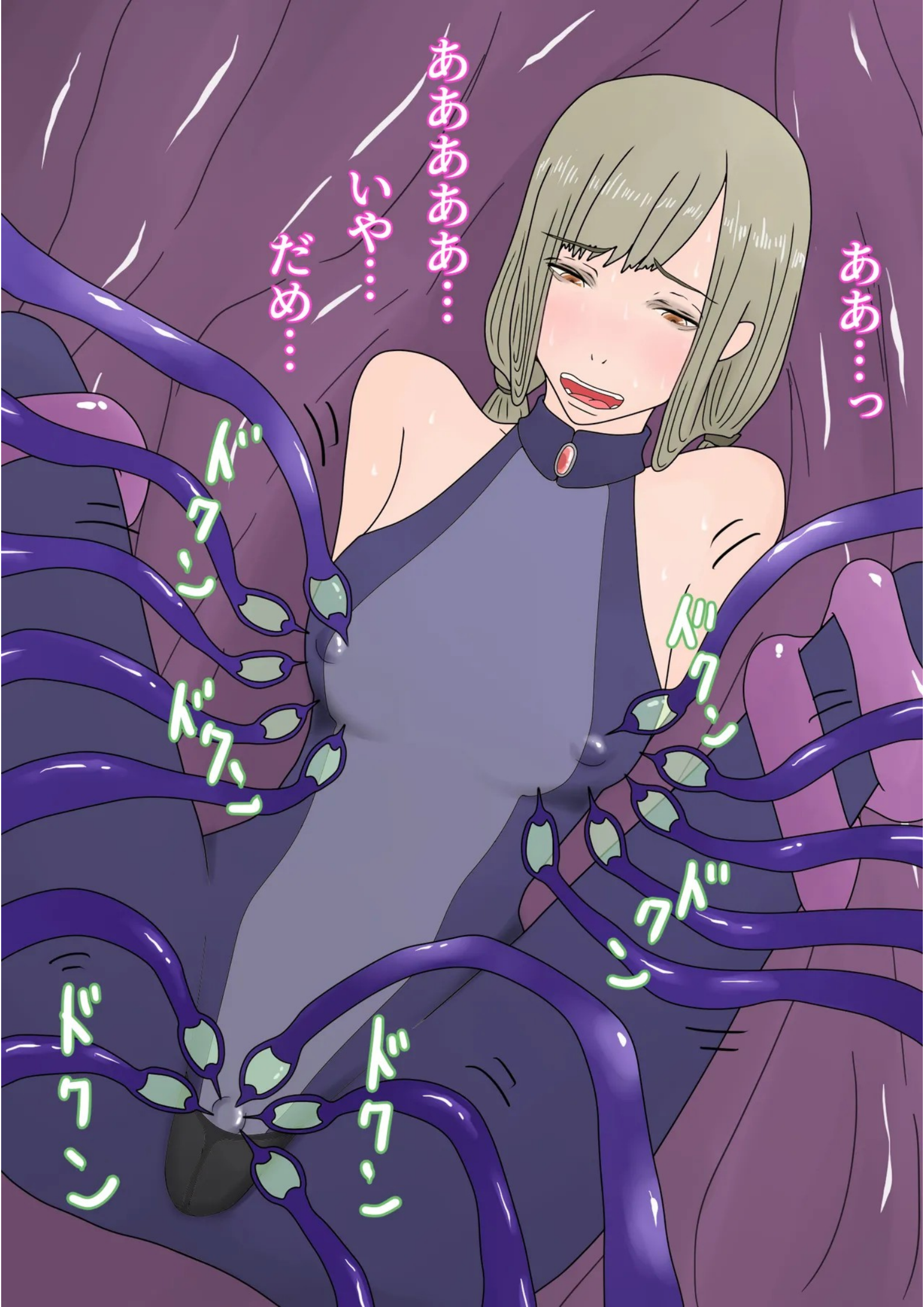


や…やめなさい…

それ以上
その薬を使うのは…っ！

だ…だめ…っ！





あああああ...

いや...

だめ...

ああ...っ

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

薬の効果でどれほど巨大化するだろうか

これからの成長が楽しみだ…

ドクン
ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン



7 日 目

薬液注射を1週間続けた

ハア
ハア

乳首、乳房、そして、クリトリスは
異様な大きさにまで
巨大化した



見た目は合格だろう
次は感度をチェックする

うっ...

うっ...





何を…

あぁ…

ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



びび

ガッ

ガッ



あひっ!?

いっやっ...!!

そんな...!!

んっ

んっ

んっ



ああ...

あああああっ...!!

だ...だめ...!!

あ...

“”

“”

“”

ああああっ……!!

だめえっ!

止めてっ!

動かさないでえっ!





あああつ!

あああああああつ!

あああつ!

ん

ん

ん



あひいいいいーっ！

グッ、グッ、グッ

ど

ぴゅ

うっ

グッ、グッ、グッ



いや...

こんな...

こんなことで...

ビク
ビク

ビク

ああ...

感度も良好のようで、
虐め甲斐のある肉体になったようだ

肉体の改造は完了したと言えるだろう



調教を次のステップへと進めようと思う

いや……

もう……

やめて……





んぐっ!?

が

ほ

おっ

んんっ

プス

プス

プス

肉体の改造が完了したので、次は精神面を調教しよう

んぐう...

んぐう...

まず、これまでとは違う薬を
用いることにする

強力な媚薬と精力増強剤だ
これを女の肉体に注入する

ドクン...

ドクン...

ドクン...



聖女もたちまち淫売娼婦へと変わる魔薬だ

数日もすれば、

この女も性欲に塗れた獣へと
生まれ変わっているだろう

数日後が楽しみだ…

ドクン…

ドクン…

ドクン…



10 日 目

媚薬と精力増強剤を注射し続けて3日が経った

そろそろ仕上がっている頃だろうか







んっ!!

びっ

と



んんんっ!

んぶっぶっぶーっ!

ぎゅ

うっ

うっ

うっ

うっ

うっ

んほおおおーっ！

ブピュ

ブピュ



ふむ…乳首の感度も良好だ

んんっ！

んん…っ！

乳首を捻り上げるだけで
絶頂したようだ

ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ





ゴッ

んふんふん!

ガッ



んんんんんっ!

んっ!

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ



ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ど

ひゅ

う

よっぽど溜めていたのか、
クリトリスを掴んだだけで絶頂してしまったようだ

ビク、ビク、

しかしながら、
精力増強剤を注入しているので、
何度でも絶頂することができるとは

ニク
ニク
ニク

ニク

ニク



女は絶頂直後だが、それに構わず、
クリトリスのシゴキを開始する

んんんっ！

ビクンッ

んんっ！

ビクンッ

ニク

ニク

ニク



んぶうううーっ！

んぶうー！

んぶうううーっ！

んん

んん

んん



んふんふん！

んふんふん！

と

ぽ

ゅ

ん

ん

ん

女は難なく連続絶頂し、
母乳と愛液を撒き散らしている

んんっ！

んんーっ！

んふっふっふっ！

んん

んん

んん

んん



薬はうまく効いていそうだ

んふうーっ！

んふううううーっ！

どっぴゅ

うっ

んん

んん

あとはどれだけ連続で
絶頂することができなのか…
肉体の限界を調べることにしよう





が

あ...

あ...

が
が
が

が

ん
ん

ん

ん



お...お願い...

ああ...

ガッ

ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ



足りないのおっ!

イカせて!

もっとイカせてえ!

もっと激しくしてええっ!

ムムム

ムムム





あああっ♡

イ…イク…っ♡

またイクううっ♡

ああっ♡

”ハ”

”ハ”

”ハ”

”ハ”



あああああーっ♡

ガッガッ

ガッ

だめえええーっ♡

ガッ

もっとなぁもっとなぁイかせてえーっ♡

強くしてええー♡

ニク

ニク

ニク

ニク



薬の効果は上々だ

何度でも連続絶頂が可能で
何度も絶頂しないと
満足できない身体になった



その日は女が力尽きるまで責め続けた

女はあらゆる穴から汚物を垂れ流し
満足そうな表情で気絶していた



時間はかかったが、
女の改造調教は無事完了したといえるだろう

これからは私の家畜奴隷として
生活していくのだ…



15 日 目

女を家畜奴隷として
飼いはじめて数日が経った

調教を施してからは、
すっかり態度も従順になり
素直に言うことを聞くようになった



ただし、調教の副作用もあったようだ

巨乳化した乳から出る母乳が止まらず
常にお漏らしの状態となっていました



そこら中に母乳を撒き散らしていたが

今は乳首パッドを装着することで
撒き散らさずに済んでいる



おはようございます。
ご主人様…



本日も…

変態の私が、さらなる変態へと
なれるよう
変態性癖の開発をお願いします…



調教前の口上も述べられるようになった
調教は順調のようだ

それでは、本日の調教を開始しよう



ご主人様

私のいやらしいケツ穴は
見えますでしょうか

女が調教のためのポーズをとった

私の言いつけ通り、肛門がよく見える格好だ



それでは…

準備を開始しますので
少しお待ちください









んはああ...っ

んんっ

ムッ...ムッ



あはあああ...っ

んん...っ

んん...っ

グ...

ググ...

ム...

ム...

ム...

女の腸内には大便を模擬した
バイブを3本埋めてある

今日はアナルの調教をするが、
そのためにはまず、

バイブを排泄する必要があるのだ

ゾ
コ
ゾ
コ

順調に1本目のバイブが出てきたので
そろそろバイブの電源を入れよう

グ
グ

グ
グ

ム
リ

ム
リ

ム
リ







だめ...っ

あひいつ!

〽
〽
〽
〽
...

〽
〽
...

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ



おほおおっ！

ビ
フ
ン

ぽ
ん





まずは順調に1本目が排泄できた

褒美として触手を1本与えてやろう

ㄱㄱㄱㄱㄱ

ㄱㄱ

ㄱㄱ





あひいんっ!

あぁあ...っ

ガッ

シッ

クッ

クッ



だめえ...っ

ああんっ

ズカズカ

クク

クク





あああ...

ん...は...

ピクピク

ム...



あひいんっ♡

あああああっ

ンクンク

ググ

ググ

ムッ

ムッ

ムッ



ああっ♡

あひいつ♡

ああああんっ♡

だ…だめ…っ

ハカハカ

ブブブブ

ブブブブ



んぎゅ...んぎゅ

んぎゅ

んぎゅ...んぎゅ

んぎゅ...んぎゅ

んぎゅ...んぎゅ

んぎゅ...んぎゅ



あひひひひっ!

ムカムカ

ぽん

ク

ク

あぁっ

あひいっ

だ...だめ...

ご主人様...

ソコソコ

クク

クク



2本目も排泄し、いよいよ最後の3本目だ
女には3本排泄するまでは
絶対に途中で絶頂しないように
と命令している



ビクビク

そして、命令を守らず、途中で絶頂すると
厳しい罰を与えるように伝えてあるのだ



さて、2本目を耐えたぐっ寝美に
更に2本の触手を与えてやろう





あひひひひひーっ♡

いひっ!?

すちゅ...

すちゅ...

ハカハカ

クク

クク



あああああー♡

だめえええー♡

ぎゅっ

いんな...っ

ズクズク

クク

クク

ぎゅっ

いんなのってええ♡



あひいいーっ♡

こんなのダメエっ♡

ズン
グン

クク

クク

イッちやいますっ♡

すぐにイッちやうううーっ♡



あああつ...

ぐわんぐわん

だめえええ...

んぐ...

ズクズク









んああっ

んぎひいっ

んぎひいっ

グ...

ん

グ...

ム...

ム...

あぁ...

あぁあ

んぎひいっ

んぎひいっ



あぁっ

あああああっ!?

ぐわっ

だ...だめっ

ぐわっ

あひいんっ♡

ゴックン

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ



あっ♡

あひっ♡

ぐにぐに

ぐにぐに

あああ♡

ああああー♡

バカバカ

ブブブ

ブブブ





あああああーっ♡

だめええーっ♡

ガッガッ

ガッガッ

ぐっぐ

ズクズク

グッ

ブブブ



ビ
ン
ン

と
っ

び
び
び

あ
ひ
い
っ
♡

ひ
ゅ

っ
っ

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ



あ
あ
あ

ひ
ひ
ひ

ぐ
ぐ
ぐ

ぐ
ぐ
ぐ

ぽ
ぽ
ぽ



あああ

あ...

ク

ク

私の命令を破り

バイブを排泄する前に絶頂したようだ

あああ...

お...お許しを...

ガッガッ
どうか...

はしたない雌豚には
罰を与えなくてはならないだろう

クッ

クッ



懲罰用の触手の準備を開始する





んんっ

んんっ

んんひへえ…っ

んはあ…っ



んんうつ!

んんうつ!

ちゅうつ

ちゅうつ

ずちゅうつ...



んんんっ!

んんんっ!

ズズズ...

ズズ...



んぶううーっ

んぶうううーっ

とっ
ん
ん

とっ
ん
ん

乳首とクリペニスを触手でつなぎ
媚薬と精力増強剤を注入した

次に、女のアナルに特殊な
アナルバイブを挿入する。

ズ
ズ
ズ



屍穴から奥に入り

フタナリ女の2つの性感帯である

子宮頸部と前立腺を同時に刺激する

肉体開発済みの女であれば
数秒と耐えられずに絶頂する
究極の快楽装置だ

す" 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

このバイブの電源を入れたら
あとは気絶するまで放置しよう

A vertical illustration of a pink, bubbly trail rising from a grey base. The trail consists of several pink circles of varying sizes, some with internal details like a small circle or a cross. At the top of the trail is a large, stylized pink character 'す' (su). The background is a light pink color.

とどまることのない快樂と絶頂の連続は
地獄の苦しみでもある





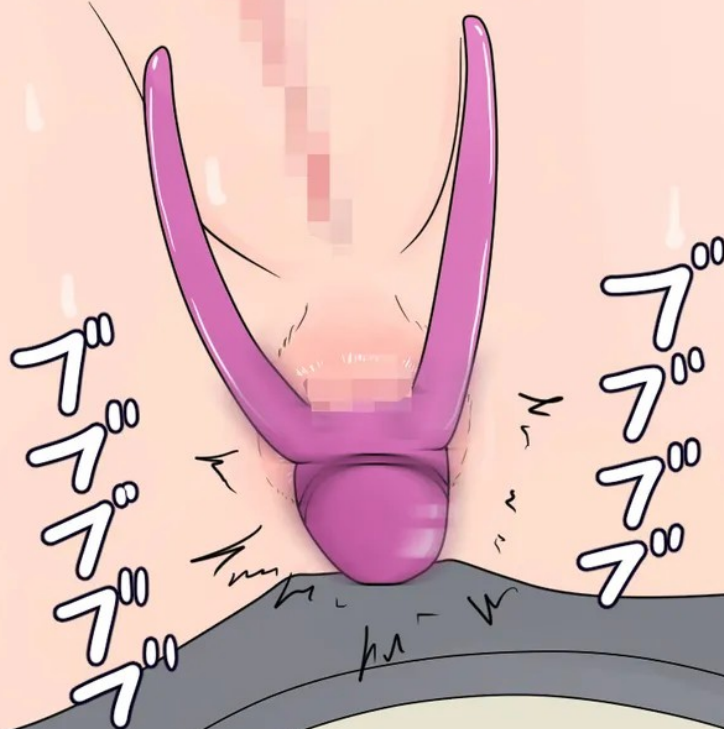




絶頂を繰り返し、自らの排泄物を、自ら食する。



排泄物を食らうたびに、女のプライドは打ち砕かれ、肉奴隷としての立場を理解していくだろう



さあ、私からの懲罰を存分に味わうがいい

ぽんぽんぽん

びくびく

贖罪が済んだころには

変態行為でしか満足できない真の変態雌奴隷へと

生まれ変わっていることだろう。

ブ
ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ
ブ



30 日 目

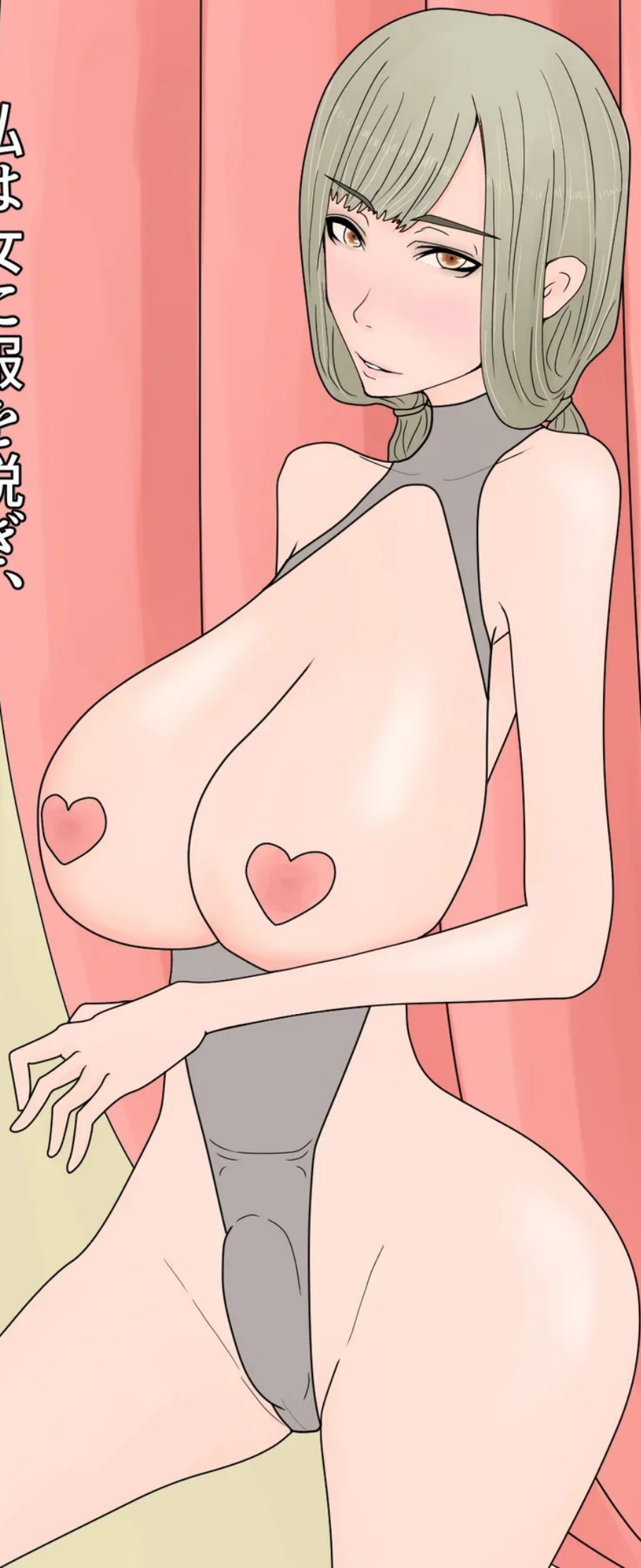
おはようございます
ご主人様

朝の挨拶とともに女が現れた



この女の調教は完了したと言えるだろう
雌奴隷としての行儀やマナーも身についた
もう教えることも何もないので、
今日はその肉体を可愛がってやることにしよう

私は女に服を脱ぎ、
ケツ穴をこちらに向けるように命令した



あああ♡

ご主人様…♡

私の恥ずかしいケツ穴は
見えていますでしょうか？



雌奴隷としての行儀も覚え、
性交の前には淫らな口上も
述べられるようになってきた

本日はご奉仕する機会をお与えいただき
誠にありがとうございます。



ああ、ご主人様…♡

私は醜く淫らな変態の雌奴隷です…♡



ご主人様に^ご奉仕することと、
オナニーすることしか
考えていない変態女なのです♡

ご主人様に^ご奉仕すると胸が熱くなり、
幸せな気持ちで一杯になります♡



オナニーは毎日していますが、
一度始めると止まらなくなるほど大好きです。

特に、ケツ穴のオナニーが大好きで、
前立腺を弄り過ぎて、前立腺が
大きなコブのようになってしまいました。



変態雌豚の私に相応しい
淫らなコブができて嬉しく思っています♡





心から愛しています♡

愛しています♡

ご主人様♡

あああ♡



ご主人様のことを考えると、胸がドキドキし、
クリトリスが勃起し、オナニーが止まりません♡

ケツ穴を弄ってくださった時のことを思い出すと…

あ♡

ああ♡





とっ

ベ

あぁあぁあつ♡

ぴゅ

うっ



過去の調教を思い出したのか、
口上の途中で絶頂したようだ。

口上はまずまずの出来だが、
まあ合格としてやろう。

ぐっぐぐ...

びゅ...





お..
お..
お..
ち..
ん..
ぽ..
♡

あ♡
あ♡
あ♡



あああああ...

ああん♡

うゝ
と





イビツ

あひいんっ♡

コンッ



前立腺のコブがあっ

コリコリするのにおおっ

そっお

あ

あ

コリ
コリ♡

コリ
コリ♡



とっ

イビツ

あひいいいんっ♡

ぴゅ

うっ

フー

フー

フー♡

フー♡

コブがペニスの亀頭を擦り、
なかなかの心地良さだ。

あ♡

あ♡

数回、前立腺をペニスで突き、
女を何度か絶頂させた後、
ペニスを奥深くに埋めていく…

コリ
コリ♡
コリ♡
コリ♡



ケツ穴の奥から……

子宮に当たってえ…っ♡

い
ゆ
い
い
い
い



胸があつ♡

キュンキュンしちゃいますうつ♡

いゅっ

ああああ♡

いゅっ

ご主人様あ♡

ご主人様あ♡



ああああああ♡

大好きいつ♡

愛してますっ♡

もっもっ…もっ♡

ぐちゃぐちゃにしてえっ♡

じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ

じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ



とっ

びゅ

あひいいいんて♡

うっ

じゅ

じゅ





とっ

ゴッ

いひひひひん♡

ぴゅっ

じゅっ

じゅっ

早漏の雌奴隷なので、
少しケツ穴を責めただけで
すぐに絶頂してしまう

その後も幾度となく絶頂させ続けた



やがて、女の反応が鈍くなり、
そろそろ体力の限界となりそうなところで、
ケツ穴の中に思い切り精をぶち込んだ

おほおおおおお——っ♡

ビコンッ

とっ

ビクッ

ぴゅっ

どひゅっ

とびゅ
どひゅ

女は白目を剥きながら、
自身の排泄物に埋もれ、
気絶した。

不細工な表情を晒し、
まさに変態雌奴隷に
相応しい姿だ…



元はオナニーも知らない淑女だったが、
私の調教を受け、
今では立派な変態雌奴隷へと成長した

しかし、まだまだ教えてやれる変態性癖はある



スパンキングなどの被虐の悦びや、
浣腸や食糞などのスカトロの悦び…

今後に変態の極みへと導いてやろう。
これからが楽しみだ…

ク
ク

ク
ク



2
年
後
：



んぐうううーっ！

んぐううう！

んぐうう

んぐう

んぐう
んぐう
んぐう
んぐう

んぐう
んぐう
んぐう
んぐう
んぐう
んぐう
んぐう



んんんんーっ！

グ、グ、グ

い、い、い

い、い、い

グ、グ、グ

ど
ひ
ゅ
っ
ゅ

ど
ひ
ゅ
っ
ゅ

フ
フ
フ
フ

フ
フ
フ
フ

フタナリ専用バイブを挿入して約2時間…

連続絶頂を繰り返し、
とうとう、力尽きたのか、
ピクピクと痙攣したまま動かなくなった



おそらく、気絶しているのだろう

ケツ穴に挿さったバイブを抜き取り、
本日の「餌やり」を終えることにした





ん...っ

ビッ

クッ

ん...っ

クッ

いっはっはっ

クッ

クッ

女を拘束する触手を解くことにした

目隠しを外してみたが、
白目を剥いており、
意識は朦朧としているようだ

ん…

ビク

ビク

ん…

ビク

ヒク

ヒク





最初は嫌がっていた自身の排泄物の食事だが、
私の教育のおかげで、今では大好物になったようだ

特に精液の匂いと苦味がたまらないのだという

好物を満腹食べて、幸せそうな表情で気絶している…

あ…♡
おひ…♡

ヒク

クク

私は女の衣服を剥ぎ取り、全裸にしてみた

あ…♡
おひ…♡

乳房は常人のものとは思えないほど膨れ上がり、
ペニスは胸まで届くほどの大きさがある

ヒク

ヒク



また、自身の精液を好んで飲み、
ケツ穴を弄られないと満足できない性癖を持つ

あゝ
おひゝ

ヒク

クク



誰がどう見ても変態だ

あ…♡
おひ…♡

この無様な変態女を私が作ったのだ

ヒク

ヒク



私は女の姿を眺め、
そして、調教に達成感を感じながら、
本日の餌やりを終了したのだった。

あ……♡
おひ……♡

ヒク

ヒク





Fin